

#### (4) ②様式第4号-2 (報告書)

※文字のフォント、大きさは Meiryo UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。

※写真は、進行プログラムに沿って適宜、右ページに簡単な説明文を添えて貼り付けてください。

※必ず A3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

NITS・教職大学院等	実施機関名・連携機関名 岡山大学大学院教育学研究科・岡山大学教師教育開発センター・岡山県教育委員会・津山教育事務所
コラボ研修プログラム	テーマ： 校内 OJT チームを核とした若手教員授業力向上支援事業 — 授業力パワーアップセミナー
支援事業報告書	研修等名：【NITS・教職大学院等コラボ研修プログラム支援事業】  令和3年度 若手教員授業力向上研修会 「授業力パワーアップセミナー 第2日」  開催日時：令和3年12月27日 8時45分～13時00分 開催場所：久米南町立久米南中学校（岡山県久米郡久米南町下弓削440-1） 参加人数（総数）と参加者の属性：（67人）受講者33名（小19，中14），講師（大学教員）17名， 教育委員会・県総合教育センター関係者11名，他校等参観者6名

**内容：** ※全体発表の内容をテープ起こしするなど、具体的に記載してください。研修等の様子は、写真を右に貼り付けてください。

岡山県教育委員会津山教育事務所と岡山大学大学院教育学研究科教職大学院ならびに岡山大学教師教育開発センターとの連携協働事業として平成28年度以来取り組んでいる事業である。津山教育事務所管内の公立小中学校を対象に、先輩教員と若手教員からなる校内 OJT チームを組織し、若手教員の授業力向上の課題を通して、授業力向上と授業改善を核とする校内研修の質的向上に大学教員が全面的に参画するものである。なお本セミナーの受講者（若手教員と先輩教員）には、本学教職大学院の履修証明制度を活用したラーニングポイント制が適用される。

今回の補助事業ではセミナー全体のうち最終日のみ支援を申請した。当日の要項は右頁のとおりである。最終日は年間を通して取り組んだ若手教員の研究授業の研究協議会である。今年度のセミナーに参加した9校10チームを5つの分散会場に分け、1人60分の実践報告を行った。実践報告は①学習指導案と逐語録の読み込み→授業動画を用いた報告→研究協議という流れで行った。研修冒頭には NITS 前理事長の高岡信也先生より、大学と教育委員会との連携のもと校内研修を軸に若手の授業力向上を目指す本セミナーの意義と価値についてご講話頂き、充実した研修とすることができた。なお、ここに至るまでの間、6月には先輩教員のみ対象としたセミナーを、8月には全受講者を対象に講話と演習を中心としたセミナーを、2学期には中間訪問指導として学習指導案検討と研究授業に係る逐語録作成や研究協議に本学教員が参画している。

**成果：** ※参加者の声など客観的な情報・データとともに記入して下さい。

事後の受講者アンケートから引用する。「若手教員対象」となっていますが、先輩教員である私自身も多くの気づきがあり大変勉強になりました。また他教科の実践を見る機会がなかなかないので、横のつながりで英語科にも活かせるものがたくさんありました」「2回目の授業報告が授業者にとっては負担にはなるとは思いますが、岡山大学の先生方をはじめ、多くの先生方からのご助言は大変勉強になりました」「若手教員の育成が急務だと感じています。また、若手のエネルギーから奮起すべきベテラン教員もいます。OJT の存在は知っていても取り組んだことのない学校には、校内研修の1つとして取り組んでほしいと思っております」「逐語録の作成に際し、相当な労力を費やしたが、このおかげで自分の口癖や指導のくせがわかった。より分かりやすい言い方をしていきたい」

**アイデアや工夫したこと：** ※3～5つ程度の箇条書きしてください。

- ・津山教育事務所管内の公立小中学校に受講対象を限定し、岡山県北地域が抱える課題を共有し、その解決に向けたソリューションを具体的に提供できる。
- ・県北地域の小中学校の多くは少数点在であり、授業改善への取り組みを学校単独で重ねようとしても、十分なマンパワーを確保できないケースが多い。このような実態を踏まえ、同一中学校区あるいは近隣に所在する複数の小学校の連携協働を促し、大学が組織的・継続的な支援を提供した。
- ・地域の教員養成と教員研修に責任を負う地元大学として、このセミナーに指導者として、また具体的な研修内容を研究開発する当事者として参画することにより、地域の教員の教科指導力と学習指導力をめぐる課題に向き合うこととなる。ここには本学から送り出した卒業生に限らず、広義の「養成教育のアフターケア」という課題があり、またその解決に取り組むこと自体が本学教員にとって実質的な FD 研修の機能を果たすことになる。

<写真・図など> ※会場の熱気や規模がわかる写真、参加者の表情がわかる写真（寄って撮影またはトリミング）を撮影してください。

12月教育委員会資料 令和3年度 若手教員授業力向上研修会 未定稿

# 授業力パワーアップセミナー

○主催 岡山県教育委員会（津山教育事務所）  
岡山大学大学院教育学研究科 岡山大学教師教育開発センター

## 「実践報告校の授業から学ぶ」 実践授業の報告＋協議による成果の共有

日時 令和3年12月27日（月）8:45～13:00  
会場 久米南町立久米南中学校

### 【実践報告校】

（小学校 7校19名）

津山市立鶴山小学校  
美作市立勝田東小学校  
美作市立土居小学校  
美咲町立美咲中央小学校

真庭市立八束小学校  
美作市立大原小学校  
久米南町立弓削小学校

（中学校 2校14名）

津山市立津山東中学校

鏡野町立鏡野中学校

### 【講師】

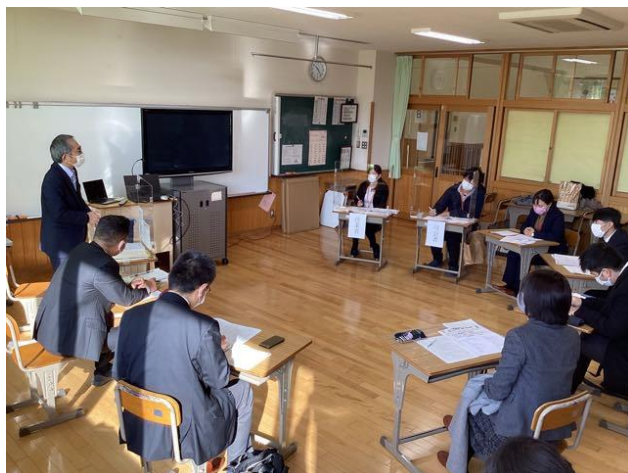
岡山大学大学院教育学研究科 三村 由香里 研究科長 高瀬 淳 副研究科長  
田中 智生 教授 平井 安久 教授 斎藤 武 教授 岡崎 正和 教授  
桑原 敬典 教授 服部 康正 教授 高塚 成信 教授（特任） 高旗 浩志 教授  
馬場 真一 准教授 金川 舞貴子 准教授 小林 万里子 准教授 宮本 浩治 准教授  
山田 秀和 准教授 早川 倫子 准教授 才野 博紀 准教授 高岡 敦史 准教授  
原 祐一 講師 三島 知剛 講師 石橋 一 助教授

### 参加対象の先生方

- ・実践報告校の先生方・来年度参加を検討している学校の先生方
- ・自らの授業改善を進めたいと考えている先生方



令和2年度授業力パワーアップセミナーより  
R2.12.25 美咲町立中央中学校



## 令和3年度若手教員授業力向上研修会 （授業力パワーアップセミナー2日目）



<研修の流れ> 令和3年12月27日（月）受付8:15～

実践発表者①の方は、発表する分分会场へ行き、セッティングをしてください。

実践発表者②③と参加者は、参加したい分分会场へ入ってください。

★8時45分 開会行事（配信） 進行（津事：小林班長）

津山教育事務所長あいさつ（津事：岩崎所長）

★8時50分 セミナー概要説明（岡大：高旗先生）

★9時00分 講義「セミナーの意義について」（NITS前理事長：高岡先生）

★9時20分～

12時40分 研修（60分×実践①、実践②、実践③）180分+20分

・黙読10分⇒ビデオ20分⇒協議30分（助言5分含む）

□観覧者の方は（オンライン含む）ここで終了です。

□アンケートにご協力ください。QRコードを読み取り、本日中に送付ください。

□受講者は振り返りを行います。発表者一覧を確認し、振り返りの会場へ移動してください。

★12時40分 OJTチームによる振り返り

★12時55分 閉会あいさつ（配信）（岡大：三村研究科長）



## 分散会の進行について （進行：先輩教員、発表：若手教員）



### <分散会の流れ>

本日の協議は、原則としてOJTチームで取り組みます。授業映像の視聴時間を合わせて、1人あたりの持ち時間は1時間です。流れは次の（1）～（3）に示す通りです。35-38頁に示すワークシートに基づいて、時間配分には留意し、各自の持ち時間が保証できる進行をお願いします。

#### （1）個人作業：逐語録の黙読を行う。（10分程度）

- ・学習指導案と照らし合わせながら行う。各自で読み解き、授業イメージを膨らませる。
- ・教師と個々の生徒の「発話回数」、「発話量（経過時間や文字数）」に注目し、その偏りを把握する。「教師の発問や指示→生徒の受け答え→教師の評価言や解説」等の「相互作用の質」に注目し、その特徴を把握する。

#### （2）グループワーク1：授業映像を視聴する。（20分程度）

- ・発表者は、授業の全体像が判るように簡単な解説を加え、約15分程度、再生する。
- ・視聴者の「初発の感想」を大切に、発表者による「解説」は極力最小限にとどめる。

#### （3）グループワーク2：ディスカッションを行う。（30分程度）

- ・視聴者の質疑を受け付け、発表者は、質疑に答えるとともに、自評を行う。
- ・授業改善に資する視点や方法について議論を深め、実現可能な手立てを見い出す。
- ・最後の5分程度で助言やコメントをいただく

